

会津若松ウィンドファームに係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校		福島県立新地高等学校
対象児童・生徒		第3学年54名
事前学習	計画	「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」で掲げた、2040年頃を目途に県内エネルギー需要の100%相当以上の再生可能エネルギーを生み出すとした目標を進めているが、その一つに風力発電がある。その施設を調査する。
	期待できる成果	施設を事前に調べることで意欲的に見学する動機づけとなる。
見学・体験学習	計画	風力発電について理解する。 発電量について知る。
	期待できる成果	風力発電は、風が吹き続けている限り、二酸化炭素が排出されない設備である一方で、様々な課題があることを理解する。風車の大きさを肌で感じ取り、電力供給世帯数について推測できる。
事後学習	計画	配付資料による振り返りを行う。
	期待できる成果	風力発電の理解と風力発電産業を支える人材になり得る契機を与える。